



北東北三県・北海道ソウル事務所だより（2023年8月）

報告者：所長 佐藤 雅代

## ■韓国 の 主なトピックス（8月）

### ○福島第1原発処理水放出の影響

前号までは5月の処理水放出計画発表以後の韓国の状況についてお伝えしてきましたが、今回は、8月24日の処理水放出以後の韓国の状況についてご報告したいと思います。

#### 1 水産物需要全体の状況

既報のとおり、韓国では実際に放出が始まる以前から「水産物離れ」が社会的現象となっており、日本への影響以前に韓国の水産業界・飲食業界に大きな影響が出ていました。しかし、放出開始後に、水産物の売上について回復傾向を示すデータが出てきています。  
<参考記事>

- ・ソウル最大の水産市場でカード利用額48%増

<https://jp.yna.co.kr/view/AJP20230904000200882>

- ・汚染水放出後の水産物消費「低迷せず」 韓国政府

[https://www.chosunonline.com/site/data/html\\_dir/2023/09/04/2023090480232.html](https://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2023/09/04/2023090480232.html)

#### 2 世論

一方、日本産水産物に関する抵抗感の間違ひなく存在します。現状、北海道や秋田の水産物が制度の上で韓国へ輸出可能であることには変わりありませんが、実態として日本産水産物の取り扱いが激減しているものと想像されます。最近では、日本産水産物を韓国産と偽って販売する産地偽装事件も発生しました。

<参考記事>

- ・韓国国民の7割超が海洋放出に反対 78% 「日本産水産物の全面禁輸を」

<https://jp.yna.co.kr/view/AJP20230901002300882>

- ・韓国国民6割「日本汚染水放流で水産物を食べることにためらいを感じる」

<https://japanese.joins.com/JArticle/308538>

- ・「日本産水産物は『絶対』販売しません」

<https://jp.yna.co.kr/view/PYH20230901124900882>

#### 3 日韓関係への影響

処理水放出の具体的な日付が公表されてから放出後まで、しばらくは左派系団体や水産関係業者を中心に日本大使館前などでの激しいデモが続いていました。また、野党「共に民主党」の李在明代表は、処理水放出への抗議を込めたハンガーストライキを8月31日から継続中です（9月8日現在）。一方、以前のNO JAPANのような、日本産製品全般にわたるボイコットや、日本への旅行を控えるような動きは見られず、相変わらず日本は人気の旅行先ですし、「日本料理」そのものを忌避するような雰囲気もありません。この点では、現在の両国政府の努力による日韓関係の改善が社会の冷静な動きに繋がっていると考えられます。

## ■ソウル事務所の主な行事・業務（8月）

- ・ 8月 北海道マラソン韓国選手招聘支援（崔代理、佐藤）
  - ・ 8月23日 JNTO 主催インセンティブ商談会  
⇒札幌コンベンションビューロー出展支援（張次長）
  - ・ 8月28日 旭川空港トップセールス支援、旭川セミナー参加（張次長、佐藤）
  - ・ その他面談（事務所来所・所長訪問の合計）： 6件
  - ・ 視察：1件（KOREA BUILD）
  - ・ ホームページ・SNS 情報更新：随時
- ※事務所ホームページ <http://www.beautifuljapan.or.kr/>

## ■観光事業実施報告

### ○JNTO 主催インセンティブ商談会

8月23日、JNTO ソウル事務所主催で全国の事業者を対象としたインセンティブ向けの観光商談会が開催されました。4道県関係では、札幌コンベンションビューロー（北海道からの依頼により張次長が通訳支援）と青森県観光国際交流機構（単独参加）が出展しました。



約40社の韓国バイヤーが各社のブースを次々と訪れ、情報収集をしていましたが、全体的に、インセンティブ誘致のためには自治体の支援プログラムのほか、以下のような情報が整理されているとよいと感じました。

- ・ 宿泊人数とグレードと宴会場の規模が整理されたホテルリスト
- ・ 団体で訪問できる文化的施設（ガイドツアーなどがあると良い）
- ・ 団体で参加できるアトラクション（北海道ではアウトドア系のものが多くなりますが、東北の場合は文化体験のようなものでもよいと思います。）
- ・ 団体を受け入れている高級レストラン

### ○旭川市韓国航空会社プロモーション事業、旭川地域観光交流会



北海道の上川総合振興局管内から、旭川空港の利用拡大を期して、旭川市副市長、富良野市長、上川町副町長、美瑛町長を始め、27名の訪問団が来韓しました。3班に分けて行われたトップセールスの実施にあたっては、当事務所の職員（張次長）が韓国内航空会社及び旅行エージェント等とのアポの取得・事前調整を行ったほか、A班（航空セールス班）の通訳として同行し、円滑なコミュニケーションを支援しました。夜には観光業界の皆様を招いて「旭川及び道北地域観光情報交流会」も開催されました。当事務所へは、富良野市長をはじめとする10名がお越しになり、急増する韓国からの観光客への対応に関する課題について意見交換を行いました。